

2016年精一集団『生き方』読書会第一期スケジュール

番号	月日	時間	曜日	章	内容	ページ
1	10月 25日	17:40 ～ 18:10	火	プロローグ	プロローグ	1-3
				推薦プロローグ	推薦プロローグ：人生教科書	1-8
				プロローグ	混迷の時代だからこそ「生き方」を問い直す	3-4
					魂を磨いていくことが、この世を生きる意味	5-6
					単純な原理原則が揺るぎない指針をなる	7-9
人生の心理は懸命に働くことで体得できる	10-12					
2	10月 26日	17:40 ～ 18:10	水	プロローグ	「考え方」を変えれば人生は一八〇度変わる	13-15
					心に描いたものが実現するという宇宙の法則	16-19
					類の叡智をもたらし続ける「知恵の蔵」がある	20-21
					自己を厳しく律しつづける「王道」の生き方をせよ	22-23
3	10月 28日	17:40 ～ 18:10	金	第1章 思い を実現させる	求めたものだけが手に入るという人生の法則	27-29
					寝ても覚めても強烈に思いつづけることが大切	30-31
					現実になる姿が「カラーで」見えているか	32-34
4	10月 31日	17:40 ～ 18:10	月	第1章 思い を実現させる	すみずみまでイメージできれば実現できる	35-37
					細心の計画と準備なくして成功はありえない	38-40
					病気になって学ばされた心の大原則	41-43
5	11月 2日	17:40 ～ 18:10	水	第1章 思い を実現させる	運命は自分の心次第という真理に気づく	44-46
					あきらめずやり通せば成功しかありえない	47-49
					努力を積み重ねれば平凡は非凡に変わる	50-52
6	11月 4日	17:40 ～ 18:10	金	第1章 思い を実現させる	毎日の創意工夫が大きな飛躍を生み出す	53-54
					現場に宿る「神の声」が聞こえているか	55-57
					つねに「有意注意」の人生を心がけよ	58-60
7	11月 7日	17:40 ～ 18:10	月	第1章 思い を実現させる	あふれるほどの夢を描け、人生は大飛躍する	61-62
				第2章 原理	人生も経営も原理原則はシンプルがいい	65-67

				原則から考える	迷ったときの道しるべとなる「生きた哲学」	68-70
8	11月 9日	17:40 ～ 18:10	水	第2章 原理 原則から考える	世の風潮に惑わされず、原理原則を死守できるか	71-72
					知っているだけではダメ、貫いてこそ意味がある	73-74
					考え方のベクトルが人生すべての方向を決める	75-77
9	11月 11日	17:40 ～ 18:10	金	第2章 原理 原則から考える	自分の人生ドラマをどうプロデュースするか	78-79
					現場で汗をかかないと何事も身につかない	80-81
					ただいま、このときを必死懸命に生きる	82-84
10	11月 14日	17:40 ～ 18:10	月	第2章 原理 原則から考える	「好き」であればこそ「燃える」人間になれる	85-87
					自分に打ち勝ち前に進め、人生は大きく変わる	88-90
					複雑な問題もときほぐせばクリアに見えてくる	91-93
11	11月 16日	17:40 ～ 18:10	水	第2章 原理 原則から考える	国際問題、国家間の摩擦も単純に発想してみる	94-96
					外国との交渉は常識より「リーズナブル」	97-99
				第3章 心を 磨き、高める	日本人はなぜその「美しい心」を失ってしまったか	103-105
12	11月 18日	17:40 ～ 18:10	金	第3章 心を 磨き、高める	リーダーには才よりも徳が求められる	106-108
					つねに内省せよ、人格を磨くことを忘れるな	109-111
					心を磨くために必要は「六つの精進」	112-114
13	11月 21日	17:40 ～ 18:10	月	第3章 心を 磨き、高める	幼い心に感謝の思いを植えた「隠れ念仏」	115-117
					どんなときも「ありがとう」といえる準備をしておく	118-119
					うれしいときは喜べ、素直な心が何よりも大切	120-122
14	11月 23日	17:40 ～ 18:10	水	第3章 心を 磨き、高める	トルストイも感嘆した仏教説話が描く人間の欲深さ	123-125
					人を惑わせる「三毒」をいかに断ち切るか	126-128
					「正剣」を抜いたら成功、「邪剣」を抜いたら墓穴を掘る	129-131

1 5	11月 25日	17:40 ～ 18:10	金	第3章 心を 磨き、高める	働く喜びは、この世に生きる最上の喜び	132-133
					お釈迦様がとく「六波羅蜜」を心に刻め	134-135
1 6	11月 28日	17:40 ～ 18:10	月	第3章 心を 磨き、高める	日々の労働によって心は磨かれる	136-138
					労働の意義、勤勉の誇りを取り戻そう	139-141

注：1. 読書会の日が生産停止日等特殊な状況と被れば、日程を順番通りに繰り延べる。  
2. もし当日司会者がいない場合は各グループの読書会の責任者が担当する。